

自己実現 2018

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

[大学入試センター試験の出願(志願票作成)について]

検定料の払い込み・志願票の作成(清書)は順調に進んでいますか? 志願票提出最終締切日は9/15(金)です。できるだけ余裕をもって提出してください。

担任の先生に志願票を提出する前に、自分でもう一度よく点検しましょう。

- ①訂正がある場合、指定された方法で正しく訂正できているか。
- ②受付局日付印が押してある「E:検定料受付証明書」をしっかりと貼付しているか。
- ③払い込んだ検定料と受験教科数の合計・成績通知希望の有無が一致しているか。
- ④「受験上の配慮」・「イヤホン不適合措置」申請者は、書類の不備はないか。
- ⑤別冊子(数学②・外国語)の配布希望をする場合、○をしているか。
- ⑥記入の済んだ志願票を両面ともコピーをとって、保管してあるか。

※トラブルが発生した場合は、大至急担任か進路指導部の先生に申し出なさい。

[地歴公民・理科②の第1(2)解答科目]

地歴公民・理科②をそれぞれ2科目受験する場合、最初の60分で解答した科目を「第1解答科目」、後半の60分で解答した科目を「第2解答科目」と呼びますが、1科目のみを可否に利用する場合は、ほとんどの大学が第1解答科目を採用します。大学がどのような方式を採用するのか(たとえば、第1解答科目を採用するのか、受験した二つの科目のうちの高得点の科目を採用するのか)を確認しておかなければなりません。みなさんに配布した「受験校決定 PERFECT BOOK」には、各大学・学部(学科)の入試科目・配点等が記載されていますが、「理科②・地歴公民に第一解答科目が指定されている場合は、配点欄に「第1」と表記している」とあります。また、理科①(物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎から2科目選択)を受験し、理科②を1科目受験した場合に、各大学がどちらの科目を採用するのかは、上記の冊子には書かれていません。センター試験志願票作成のこの時期に、地歴公民・理科の科目選択のみならず、センター試験と二次試験の傾斜配点も含めて、「第一志望」の大学についてホームページや募集要項などで必ず確認してください。

[第3回進路希望調査]

データは削除してあります

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

「第一志望」を貫いて進路を実現するためには「志望力」と「受験学力」が必要です。粘り強く「志望力」を維持しながら「受験学力」の上昇を信じて努力することが現役生に何より求められることです。夏季休業中の学習が思い通りに行かず、自分の学力自信が持てなくなった人が増えていると思います。しかし、それはみんなが同じように感じていることです。あなただけではありません。友達と愚痴や悩みを話し合ひましょう。そしてお互いに励ましあいながら、乗り越えていきましょう。現役生はこれから学力の伸びるこの時期です。もう一度「第一志望」への思いを強くしてほしいと思います。

他校の友人から指定校推薦やAOといった特殊な入試制度の話題を耳にして、「自分も・・・」と考えている人はいませんか？「あなたの第一志望はほんとにそんなところでしたか？」もう一度よく考え直してください。今は人のことを気にして勉強をおろそかにしている場合ではありません。みなさんの基本的な姿勢として「第一志望」以外の大学へ心が浮遊することはあり得ません。「夏休みの成果がなかなか数字に表れない」とか「他人の成績が気になる」など、受験生特有の不安や悩みもあるでしょうが、ネガティブな考えは思考力を低下させます。「雨だれ石を穿つ」の精神で地道に学習を続けましょう。一番大きな喜びは一番あとにやってきます。

[8月全統マーク模試採点結果]

データは削除してあります

8月に実施した全統マーク模試の結果が判明しました。みなさんの実力は他校と比較しても、決して見劣りするものではありません。着実に力はついてきているのですから、これからも焦ることなくじっくりと授業中心の学習を心がけましょう。模試の成績は所詮途中経過に過ぎません。8月の成績分布がそのまま本番まで推移するはずがなく、夏の成果はこれから現れてきます。数字や順位に一喜一憂することなく、間違った問題やできなかった分野に目を向けて復習するというひたむきな努力を積み重ねていくことが大切です。次回神戸高校で受験する実力考査は、第4回実力考査(駿台・ベネッセ記述模試10/13,14)です。次の模試に照準をあわせて計画的に学習に取り組みしましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

[外部模試の申込みについて]

(河合塾) 「大学別オープン模試(11月分)」「第3回全統記述模試」 申込締切 10/5(木) 進路指導室前に案内を置いています。ネット申し込みしてください

注意! 京大オープン(11/3)を受けたい人は11/3 学校実施の全統マークは11/4に受けても
らいます。進路指導部の先生に申し出てください。

(駿台) 「秋期大学別実戦模試(11月分)」 申込締切は各模試の実施1週間前

進路指導室前に案内を置いています。ネット申し込みしてください

(代ゼミ) 「秋期大学別模試(10~11月分)」「高3模試特別会員」に登録した者は

進路指導部の先生に受験の申込みをしてください。

[大学別対策講座]

(駿台) 突破レクチャー(京大、阪大、神戸大)の申し込みは進路指導室前の箱に申込書を入れること。【有料】

(河合塾) 入試頻出分野対策「現役合格ゼミ」の申し込みは進路指導室前の箱に申込書を入れること。【無料】

[キャリアアップセミナーの案内]

「平成29年度 キャリアアップセミナー(卒業生を囲んで)」を下記の通り開催します。詳細は既に配布済みの「お知らせ」を見てください。参加希望者は9/20(水)までに、申込用紙を職員室東側にある提出箱に投函してください。

日時: 9月23日(土) 9時30分~12時30分(予定)

場所: 会議室A

話題提供: ◎京都大学 法学部 ◎大阪大学 医学部 ◎神戸大学 経営学部

◎京都大学 工学部 ◎九州大学 工学部 ◎東京大学 理科I類

内容: 受験大学・学部の決め方, 受験の準備や合格のための高校時代の過ごし方, 入学した大学の学部学科案内と感想, 将来の夢など

[ウィークエンドセミナー(WS)]

2017年度(70回生) WS(ウィークエンドセミナー) 中期 (9月~12月) 実施計画	講座(担当)	教室	第2学期											
			WS5	WS6	WS7	WS8	WS9	WS10	WS11	WS12	WS13	WS14	WS15	
			9/9(土)	9/16(土)	9/23(土)	9/30(土)	10/7(土)	10/14(土)	11/18(土)	11/25(土)	12/9(土)	12/16(土)	12/23(土)	
I 8:20~ 10:00	古文(樋上)	3-8	○	○	○	○	○							
	漢文(細野)	3-3	○	○	○	○	○							
	化学基礎(楠本)	3-5		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	地理(宗)	3-9	○	○	○						○	○	○	
II 10:15~ 11:55	古文(樋上)	3-8	○	○	○	○	○							
	漢文(細野)	3-3	○	○	○	○	○							
	化学応用(楠本)	3-5		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	地理(宗)	3-9	○	○	○						○	○	○	

※古文, 漢文のI時間目とII時間目は同一内容です。

9/9(土)より, 中期(9~12月)のウィークエンドセミナー(WS)を開催します。自習のための教室利用者, 学習会参加者は, 登校時に必ず職員室東側入口の「ウィークエンドセミナー出席簿」に○を記入してください。WSに関する連絡は, 職員室前連絡黒板で行うので, 登校時に確認してください。自習教室は, 3-7教室のみです。自習可能時間帯は原則として9:00~17:00です。自習教室は使用した人が責任をもって窓閉め・消灯を行ってください。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

[先輩の声-合格体験記より]

(京都大学法学部:男子)

私の勉強の基本的な取り組み方は、まず自分の間違いや理解の足りていないところを見つけ、そしてそこを直すことでした。この方法は入試前まで変わらず続けていました。新しい問題を次々に解き進める方法もありますが、理解が足りていないと分かっているところを直す方が手取り早いと考えたのでこの方法を採用していました。特に基本、基礎的な問題集は応用に向かう際の土台となる問題が多いので、3回解けるまでやりました。夏以降は応用、センター、赤本と使う問題集を変えていきました。

夏休み明けだと、体育会、合唱コンクールのことを考えていてまだ少し心理的に余裕がある方もいるかもしれません。しかし、試験が近づくにつれ真剣さが増してきます。それに伴って不安や焦りも増してきます。(このことは頭に入れておいてもよいかもしれません)。不安や焦りが募ったときには、やはりとりあえず何か勉強するのがいいと思います。勉強すれば合格には近づけるので、とりあえず一問、一問とすすめていくのがよいと思います。また、不安等を考えないようにする方法として、習慣化するのもよろしいかと思われます。

模試が返却されたり、偏差値から合格可能性なども判断されたりして志望校について様々なことを考えることもあるかと思います。私は志望校を決める際、その志望校に対する憧れを重視しました。基本的には行きたいところを志望校にすべきです。そこが本当に行きたいところであればモチベーションを高く保てます。また、併願校ですが、神戸高校は併願校を決めることを禁止してはいません。ただ、後々後悔するような選択はしないほうが良いと思います。

最後に、この体験談はあくまでも一回しか受験を経験していない一個人が述べたものです。これが皆さんの役に立てれば幸いです。

(京都大学工学部:男子)

9月の僕は焦っていました。夏休みの過ごし方が計画倒れに終わり、8月の終わりごろに受けた京大模試ではほとんど手が出なかったことにも焦りを感じました。そのうえ、合唱コンクールの練習もあって、輪をかけた時間のなさに危機感を覚えました。僕は睡眠時間を削りましたが、やっぱり体力的に無理があったらしく、発熱して9月の連休をふいにしてしまいました。でもこれは良い反省の機会でした。脳科学に基づいた「受験脳の作り方」という本を読んで、**生活習慣や勉強スタイルを見直しました**。そして、寝る前は暗記、朝は早めに起きて問題演習の時間に当て、量よりも**復習によって質を高める勉強**を目指しました。また、「勉強の成果はすぐには現れません。能力はあるとき突然、爆発するかのように現れるのです。」という一節を読んで、現役は最後に伸びるという言葉が信じられるようになり、焦らず前向きに努力を重ねることができるようになりました。

秋になって過去問研究も進んできたころ、志望先の点数配点から**自分なりの戦略を考えました**。センターでこけなければ二次試験は6割も取れば十分だと分かり、難しい問題に時間を費やすより基礎を大事にしました。塾に行っていないことに何となく不安もありましたが、周りを気にせず**自分の勉強に集中する**方が良いと判断しました。結果的に僕は行かなくて大正解だったと思っています。

センターを受けて、二次試験も迫ってきた頃、志望先の倍率が上がっていることを知りました。その日は動揺してあまり勉強に身が入りませんでした。しかし、そんな自分を客観的に見て、おそらく他の人も自分はダメかもと思っているだろうと考え、むしろチャンスだと**ポジティブ**に思い直して再び集中することができました。

二次試験の手ごたえはよくなかったです。基礎を大事にしたことは正しかったと思いますが発展的な問題に対応できる実力が不足していました。実際、得点は5割ほどでしたが合格できました。まずまずの戦略通りだったと思います。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2018』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。